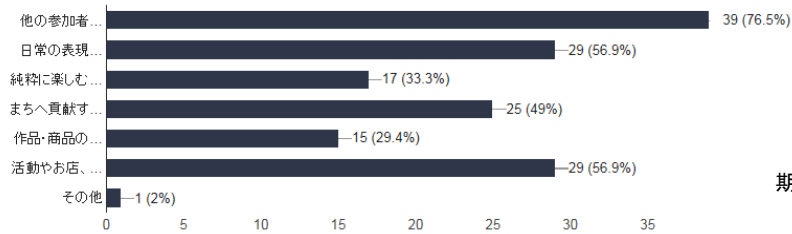


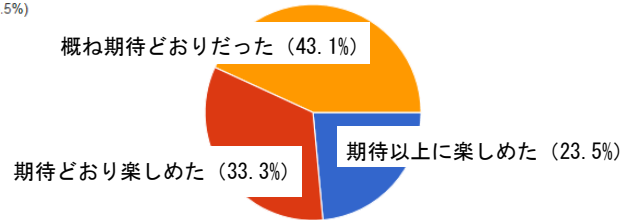
# 第24回 芸工展2016参加者アンケートまとめ

## ◆全体に関すること

■芸工展へ期待していたことをおしえてください。(複数回答可) (51件の回答)



■期待に対していかがでしたか。(51件の回答)

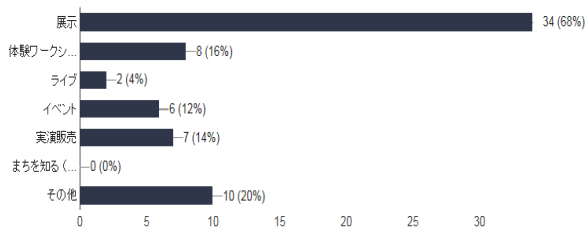


### 【ポイント】

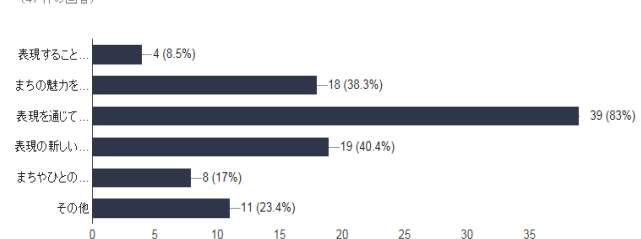
- 芸工展への期待について、過半数を超えた回答には、「他の参加者や来場者との交流」や、「日常の表現や製作品を発表する機会」、「活動やお店、拠点などのPR」がありました。
- また、約半数が「まちへ貢献する機会」として期待されていたことが分かりました。
- 期待に対しての感想は、「期待以上に楽しめた」方が23.5%もいらっしゃいました。

## ◆参加企画『まちかど展覧会』について

■企画カテゴリーをおしえてください。(複数回答可) (50件の回答)



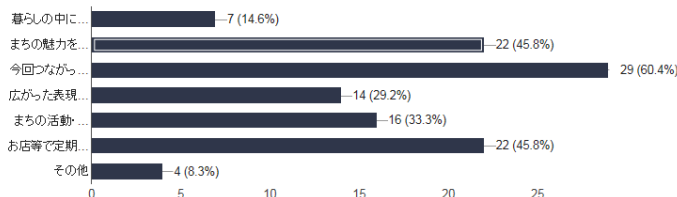
■企画をやってみての感想や変化をおしえてください。(複数回答可。ぜひ「その他」欄に詳細をおしえてください) (47件の回答)



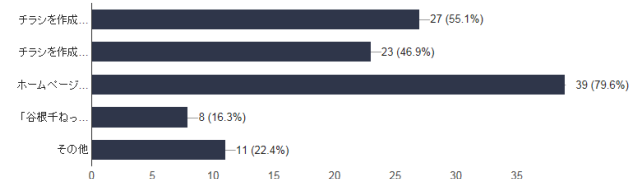
### 【ポイント】

- 企画カテゴリーでは、「展示」が68%を占めていました。
- 企画をやってみての感想や変化については「表現を通じて交流ができ、つながりが増えた」の回答が83%を占めました。その他、約4割の方が「表現の新しい可能性の広がり」や、「まちの魅力を発見し、親しみが深まった」と回答されていました。

■今後の暮らしや仕事・活動等にどのように活かそうですか。(複数回答可。ぜひ「その他」欄に詳細をおしえてください) (48件の回答)



■独自に広報しましたか。広報した場合、どんな方法でしょうか。(複数回答可。ぜひ「その他」欄に詳細をおしえてください) (49件の回答)



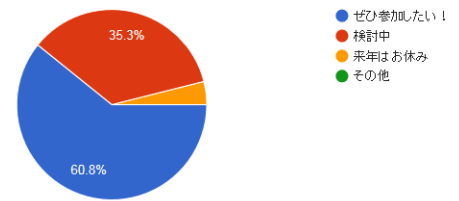
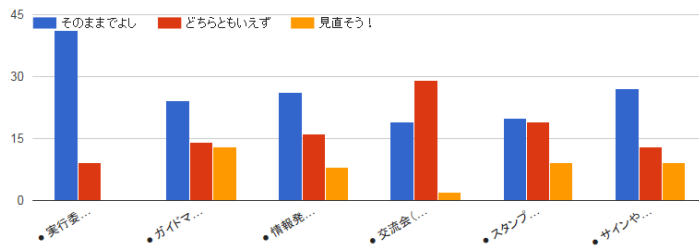
### 【ポイント】

- 今後の暮らしや仕事・活動に活かそうか尋ねた設問で最も多かった回答は「今回つながった人との交流を深めていきたい(60.4%)」でした。
- また、約5割の方が、「まちの魅力を友人・知人に伝えていきたい」や、「お店等で定期的なイベント・企画の開催を検討したい」と意欲的な回答をされていました。

## ◆ 芸工展運営の感想

■以下の項目について感想を教えてください。

■来年の参加希望(現時点の見込みで結構です) (51件の回答)



### 【ポイント】

- 芸工展運営の感想の設問では『そのままよし』が多数だったのは「**実行委員会からの連絡方法、内容**」、「**情報発信**」、「**サインやチラシポスター**」でした。
- 一方、「ガイドマップ」や「スタンプラリー」、「情報発信」については、「**手作り感があって楽しかった反面、地図が分かりづらかった**」、「**スタンプラリーの応募口数が多すぎるのでは**」、「**今年のHPは誰向けのものか分かりづらかった**」など様々なご意見がありました。

#### ■ガイドマップについて (一部抜粋)

パンフが冊子型になったのは見やすくいいと思います。 / マップの店番号と名前を一緒にしてほしかった。 / 公式ガイドマップの価格が小さいため持っていく人がいた。 / ガイドマップのデザイン・雰囲気素晴らしかった。手間が大変だったと思いますが、実行委員の皆さんの情熱が伝わる企画でした! / 展示内容をカテゴライズする等して見やすく手描きの良さが活かされてよりよくなると思いました。 / 持ち歩くのには昨年の方が小さく畳めてもいいかも? / マップは総手書きでなくある程度活字や無機質な背景が取り入れられているほうがのぞましいです。 / ガイドマップが手作り感満載のものとなり、自分も制作に参加できた感が強くなってよかった。 / 手書きは場合によっては厳しいと感じました。

#### ■スタンプラリーについて

気になりながらも入りにくいお店を覗ける切欠になるので、スタンプラリー復活は良かったと思います。 / スタンプだけ押しにくる方がいた。できたら企画に参加して押す形にしたかった。一方で時間がないと断念される方もいて申し訳ない気持ちでした。 / 楽しいスタンプを欲しい。 / スタンプラリーを楽しみに各会場を巡っていらっしゃる方が多く、この取り組みは続けていくといいと思いました。 / スタンプラリーの数字の色を薄くしてもらえるといいかと思います。

#### ■HP、SNS等の発信について (一部抜粋)

日々の丁寧なブログやSNSでの発信が素晴らしかったです。 / 「今年のイベントが何日~何日」で、「芸工展の楽しみ方やスタンプラリーの冊子が買える店舗はどこ」という基本的な情報はHPでもっと見つけやすくした方が良いでしょう。おそらくワードプレスでブログ記事スタイルだと思うので、流れてしまう記事に書くのではなく、固定の記事に書いていただけると嬉しいです!

#### ■交流会について (一部抜粋)

交流会は演奏やダンスもあり、一言ずつ紹介するコーナー面白かった。 / 交流会は飲食と会話と企画とで忙しいので広めの会議室等で酒とつまみ程度でも十分。 / 新たな参加者の方と知り合えて、企画を見に行くよいきっかけとなりました。来年もあるといいなと思いました。 / 出展者同士の繋がりが芸工展を更に盛んに円滑にしていく源になることを身を持って経験できました。

### ■全体について（一部抜粋）

街ぐるみのイベントを長年続けていかれていることが良かった。／ 大人の文化祭というコンセプトの今回の企画は谷中らしくてとてもよかったです。／ 何かしよう！という方々とできるだけ交流・支援していきたいと改めて感じられる良い機会でした。／ 「日常」と「表現」と「人との関わり」が小さいところで多発するこの芸工展は、面白い人たちを集めてくれて、良い街づくりに繋がっているのかなあと感じた。／ もっと近い人にも自分たちの活動を知ってもらいたいと思った。／ 今回は実行委員の方々がやりたいことが明確で、（不便さを含め）それはそれで面白かったです。来年もこんな感じでテーマが見える運営だと面白いですね。／ 実行委員の皆さんと顔を合わせ、お話しできる機会があり、嬉しかったです。自分も芸工展参加者の一人なのだと思うようになった気がします。前の2回はよくわからないままに、ただ芸工展の期間を過ごしていました。来年も参加出来るなら、何か違った意識で参加出来るのではないかと、自分に期待しています。／ 町に芸工展の手拭いがあちこちになびく風景は最高です。

### ■今後の芸工展へ提案したいこと

無理なく、多くのまちの人々が参加できている今のスタイルはとても良いと思います。芸工展を知ってもらうためにポスターはもう少し大きいものの方が良いと思いました。／ 参加者なら誰でも書き込めるFBサイトやMLがあるといいなと思いました。今日で最後、とか 明日からいよいよ、というのが回ってくると、見逃しがないので（今年もいろいろ見逃しました、、）／ face to faceは賛否両論 & 主催が大変、かもしれませんが、とても良かったと感じています。／ スタッフ数の問題があると思うので難しいと思いますが、参加企画の活動記録（アーカイブ）が残っていくといいと思います。／ インターネット画面を見やすくしてほしいということ、スマホアプリがあると大判の紙を持ち歩かなくて良いので助かります。／ 持続できるだけですばらしいと思います。／ カまず楽しめば良いのでは。／ より多くのメディアでの露出。／ どういうところが人手不足なのか、など早目に教えていただけるとお手伝いできるかもしれません。／ 個々のイベントでなく、つながるテーマとかがあるといいのでは。／ スタンプラリーは続けてください。／ 実行委員会がお膳立てせずとも緩やかに芸工展がまちじゅうで開催されていくこと。／ 簡素でいいので、谷根千が初めての人にも分かりやすく説明しやすい地図を希望。／ 今のままで良いと思います。若い方が地域の発展に興味を持つことが素晴らしいと感じます。

### ■芸工展でご自身取り組みたいこと

街の魅力をより多くの方に伝える事。／ 展示がこのまちに来るきっかけとなればいいなと思っているので、これからも色々な素材と技法を組合わせた表現方法を試していきたいです。／ 芸工展に参加する度に初心・原点に立つことができます。今年は特にその事を強く感じました。今後でもできる範囲で、展示会を続けて、皆様と交流していきたいです。／ いつか私も展示してみたいです。／ アーカイブ作りのアイデア出しか。／次回はきちんとしたDMを早めに作って配布します。／ 谷根千という町を知っていただく。住民にとっても再発見であって欲しい。／ 期間中はイベントをやりたいと思いました。／ 自分の店で手いっぱい、ほかのお店もうかがいたい。と毎年思っております。／ 職人の実演をお見せ出来たらと思っています。／ 自店舗の通常のカラーを変えてイベントを企画する。／ SNSで発信したい。休みを大きくわかりやすく書く。／ サポーターとして芸工展のスタイルを守りながら企画などの手伝いも出来るようになりたいと思います。／谷根千自体の地域性をフィーチャーした企画。体験型の楽しいワークショップ回数を増やしてご参加頂けるようにしたいです。／ 自分の作品発表の場にとどまらず、多くの人々と書の世界と一緒に体験する場を作り、書と人の繋がりを広めていきたい。

### ■芸工展をサポートできること

もっと前々から芸工展やってるよ！と告知できたらよかったなあと思いました。自分なりの解釈で、周りの人に芸工展の魅力を伝えていくこと / パンフレット配布とか、申し込み案内とか、ちょっとしたお手伝いを次回はしたいなど。 / 会期中に広報活動を行うことは今後もできると思います / 自分の作業で手一杯ですが、SNSでの情報拡散など / なんらかの形で継続的に関わったりお手伝いしたりしたいです。Mさんの話し相手でも（笑） / 話に困っては弊店の場所をお貸し出来る事 / 今まで通りの活動となりますが、どうぞよろしく / 他店のチラシの配布。 / 谷根千外から色々な形で発信し続けたい / お店のHPで芸工展の宣伝をする。芸工展の時に魅力的な体験型ワークショップを開催すること